

風とおしの良い夢のあるまちづくり

**ながら俊一** 通心

平群町議会議員 vol.17  
ながら俊一事務所  
〒636-0925  
奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3  
TEL・FAX 0745-45-3955



ごあいさつ

平素は、町議会に対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
令和5年第5回平群町議会臨時会が7月13日に、また、令和5年第6回平群町議会定例会が、9月5日～22日まで開催されました。9月定例議会は、出納閉鎖後の決算報告が議案の中心となる町運営を振り返る大変重要な定例会です。  
コロナウイルス感染症もインフルエンザと同様の5類相当になり、生活スタイルも少しずつ落ち着きを取り戻しつつあるように感じます。これからも『新しい生活様式』など、環境の変化に対応し、『町民の皆さまに、安心・安全なまちづくり』を心掛け、発信に努めて参ります。  
平群町議会のご報告をさせていただきます。

令和5年 第5回 7月 平群町議会臨時会

第5回（臨時会 7月13日）	
議案案件 (1件 議案第30号)	令和5年度平群町一般会計補正予算(第4号)について

(※明細は議会だよりを参照してください)

議案第30号については、県補助金を活用し、活性化センター空調機の修理や災害復旧事業などの予算措置です。

令和5年 第6回 9月 平群町議会定例会

第6回（定例会 9月5日～22日）	
承認案件 (1件 承認第5号)	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度平群町一般会計補正予算(第5号))
議案案件 (3件 議案第31号～33号)	平群町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例についてなど
諮問案件 (1件 諮問第2号)	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて
認定案件 (11件 認定第1号～11号)	令和4年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定についてなど
発議案件 (3件 発議5号～7号)	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例についてなど

(※明細は議会だよりを参照してください)

第6回定例議会（9月議会）は、本会議以外に委員会付託として、決算審議特別委員会（一般会計、各特別会計・各事業会計）が開かれます。また、諸般の報告では、総務建設委員会、文教厚生委員会についてなど報告がありました。本年度も、令和4年度の執行後における政策評価については、9月定例会の招集前に、総務建設委員会、文教厚生委員会（令和5年8月29日）を招集し、各政策評価については、平群町政策基本体系を基に進められ、令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業や事務・事業について、審議しました。

承認第5号については、清掃センターの焼却炉の故障に伴う維持補修工事と一般廃棄物の処理業務委託料です。  
議案第31号は、放課後児童健全育成事業実施要項の改正に伴う条例改正です。この議案は、学童保育に携わる支援員についてです。  
議案第32号は、人事異動等に伴う人件費の調整です。また、各担当課で算定額の確定に伴い、収支の均衡を図るものです。  
議案第33号は、平群町介護保険特別会計補正予算(第1号)です。この議案は、算定額の確定に伴い、収支を合わせるものです。  
諮問案件第2号については、人権擁護委員の選任についてです。

委員会付託議案  
決算審査特別委員会

令和4年度一般会計決算 概要

歳入総額(繰越金) 7,704,623,264円  
歳出総額(繰越金) 7,291,819,272円  
形式収支 +412,803,992円 (A)  
翌年度繰越財源 54,365,000円 (B)  
☆実質収支額 +358,438,992円 (C=A-B)  
単年度収支 △41,568,719円(D=C-R.4年繰越金 400,007,711円)  
☆実質単年度収支 +296,418,781円  
(E=D+財調基金積立 50,000,000円 地方債繰上償還 287,987,500円)  
地方自治法による基金積立 200,000,000円

実質単年度収支は、黒字になり、経常収支比率、実質公債比率、将来負担比率は、改善していますが、落ち着ける状況ではありません。うまく運営して頂く事を祈るばかりです。その他の認定第1号から11号までの認定については、歳出・歳入状況は、健全であると感じました。

右のQRコードを  
読み取り下さい。  
平群町議会の中継動画が  
ご覧いただけます。



9月議会、私が一般質問しました、内容を、ご報告いたします。

一般質問

この9月定例議会は、決算審査特別委員会など、令和4年度を振り返り、令和6年度に向けて構築できるチャンスと感じています。  
また、日常生活においても徐々に落ち着きを取り戻しつつあると感じます。コロナ禍の生活から脱却し、新しい町づくりを導く良い時世と思います。町政は、時代の流れや変化を敏感に感じ、止まることなく、先の展望を見据えながら進めるべきと考えます。この観点から質問させていただきます。

1. 新時代の学びに対応した教育環境を

学校施設は、今日の学校を取り巻くさまざまな課題に応え、未来へと継承していく、豊かで快適な教育環境に変えていかなければなりません。しかし、実際の長寿命化改修では、技術的なボトルネックが多数存在することが明らかになっています。

この度、平群町学校施設等長寿命化計画を策定されました。本町の施設は、老朽化がかなり進行しています。しかしながら児童生徒が日常的に利用する施設として、また、避難所としての役割があります。安全性を確保するとともに、時代に適応した機能性の維持向上など、適切な措置を講ずる必要があります。その観点からお伺いいたします。

- 1 長寿命化改修で目指すべき姿について
- 2 学校施設の実態について
- 3 学校施設等整備の基本的な方針について
- 4 長寿命化の実施計画について

答 弁 (教育委員会総務課)

長良議員の1項目、「新時代の学びに対応した教育環境を」のご質問について、「学校施設の長寿命化計画」に関して、小さく4点のお尋ねを頂いており、ご関連しておりますので一括してお答えします。

基本的な方針等は、先般、お配りした「平群町学校施設長寿命化計画」に網羅されているとおりです。

まず実態ですが、老朽化の状況ですが、客観的な状況を把握するため、構造躯体の健全性調査を行い、合せて構造躯体以外の劣化状況の調査を行い、健全度の評価を行いました。その結果、コンクリート中性化試験では、中性化が鉄筋まで進行しておらず、目標使用年数を迎えるまで到達する見込みがないという評価であったことなど、様々な客観的な調査結果を元に、現在の学校施設の躯体を活かした、長寿命化改修を図る方針としています。

次に、学校施設等の整備方針ですが、大きく4点掲げています。

- ①躯体の寿命に影響を及ぼす、屋上防水や外壁の著しい劣化の速やかな改修
- ②防災拠点としての施設機能の確保
- ③時代のニーズに応じた学校施設機能の確保
- ④児童・生徒数の将来見込を踏まえた学校施設の適正化

です。

最後に長寿命化の実施計画ですが、現在、老朽度の高い中学校の長寿命化改修の基本計画の策定を進めています。その成果がまとも次第、実施設計に着手、国の補助採択を受け、令和7年度に工事着手を考えています。

2. 社会体育事業について

質問要旨

本町は、生涯学習・スポーツ、文化など多岐にわたる分野で、町民の多様な社会教育活動に対するニーズに対応していると感じています。近年の新型コロナウイルスの影響で、行事、イベントが中止となりましたが、状況に合わせて徐々に実施できるようになってきていると思います。町民運動会やマラソン大会も開催されなくなり、本町のスポーツの在り方も変化し始めたのかと感じています。住民ひとり1スポーツを目指し、誰もが気楽に参加できる軽スポーツを推進するとありますが、今後、どの様に展開していく予定かお聞かせください。

答 弁 (教育委員会総務課)

長良議員の2項目「社会体育事業について」お答えいたします。

住民ひとり1スポーツをめざす当町としても軽スポーツの持つ魅力に着目し、この間、町の大会としてウォーキング、ゲートボール、ターゲットバードゴルフ、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ラージボール卓球、バウンドテニス等多くの種目の軽スポーツを開催しています。また、昨年度からは町スポーツ協会と連携し、「軽スポーツデー」を新たなイベントとして開催致しました。同様に、本年度においても年明け2月に「軽スポーツ大会」ということで計画をしておりより多くの住民の皆さんに楽しんで頂きながらスポーツに取り組んで頂くよう努めてまいります。また、マラソンに代わる新たなスポーツイベントとして「トレッキング」を企画してきたところです。昨年度は雨天のため中止となりましたが、今年度以降、毎年開催してまいりたいと考えています。

今後もスポーツイベントを企画していくにあたり、町内の関係団体と連携を密にし、地域の方が気軽に参加でき、スポーツの振興や、住民の健康増進の一助等となるような社会体育事業の実施を進めてまいります。

3. これからのまちづくり

質問要旨

本町は、この春に平群町第6次総合計画を策定しました。中・長期的観点から鑑み、大きな指針となるものです。また、デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略など、テーマは目白押しです。

最上位計画を基調に緊急財政健全化計画の推進、平群町公共施設等総合管理計画など公共建築物・インフラ施設の長寿命化、更新工事など適切な措置を講ずる必要が生じています。

奈良県の重症警報を受け策定した「緊急財政健全化計画」を確実に実行し、自主財源や奈良県の支援を受け、地方債の繰り上げ償還を実施してきました。その結果、将来負担比率・実質公債比率・経常収支比率は、下がりました。今後も、この取り組みを続ける事で安定した財政運営ができることと思います。

ただ、本町は、売却予定の土地が売れない、老朽化施設の補修・解体撤去、道路幅拡張・維持管理など大きな予算がかかる案件がたくさんあります。予算に限りがあり、緊急性を要する案件より、随時執行するとの答弁が目立ちますが、先送りばかりでは、まちづくりとは思えません。国・県に実情を訴え、パイプを太くし、ヒントを頂くことが必要と感じます。現状をお聞かせください。

答 弁 (政策推進課)

長良議員の3項目、「これからのまちづくりについて」の、ご質問にお答え致します。

現在、財政健全化計画の取組により、財政指標は改善傾向ではありますが、まだまだ脆弱な状況であり、今後の新たな大型普通建設事業を見据え、まずは、普通交付税が一定確保できている時期に、繰上償還を実施し、将来にわたり、公債費をさらに減少させ、事業実施に備えています。

公有地の売却については、令和4年度には南保育園跡地、本年度には中央公民館跡地の売却が完了し、現在、旧若葉台ゲートボール場の売却に向けて取組んでいるところでございます。

また、中学校の長寿命化対策については、奈良県と補助金の協議を進めており、住民生活に直結する清掃センターの延命化対策についても、今後の動向に注視し適切に対応して参りたいと考えております。

このように財政基盤の安定化を図りながらも、重要課題については先送りすることなく対応しているところであります。

今後も県と連携しながら、より効果的に必要な投資を行いながら、将来に向けたまちづくりを引き続き行って参りたいと考えております。

## 終わりに

令和5年第6回定例議会で、昨年同様、令和4年度決算審査特別委員会委員長をさせて頂きました。この度で2回目となりますが、議長席から見える景色の違いに慣れるまで時間がかかりました。議事進行は、次第に沿って進められるのですが、各委員の質問を理解し、理事者側の簡潔な答弁を引き出すためには、あらゆる角度からの勉強が必要と感じました。無事終了したのも皆様方のご協力によるものと感謝しております。

決算認定が終了し、令和6年度の準備に入る事となりますが、現状は、町民の皆様方もご存知の通り財政面で、少しずつ改善されてはいますが、大変厳しく、安堵できる状況ではありません。たくさんある公共施設に関しては、老朽化が進み、施設管理の重要性が指摘されています。今後また、大きな投資的経費が、必要な時期がくることが予想されています。

秋の行事も執り行われるようになりました。少しずつ落ち着きを取り戻し、感染対策を考慮し、開催できればと感じます。

以前同様に進めることは、叶いませんが、

『新しい生活様式』を考慮し、  
笑顔ある日々が続けば幸いです。

これからも、議員活動を通じて皆さまに  
喜んで頂けるように邁進してまいります。  
これからも、よろしく願いいたします。



皆様の声を、ぜひ、  
ながら俊一にお聞かせください！

ながら俊一事務所

〒636-0925

奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3

TEL・FAX 0745-45-3955

携帯電話 090-7844-8073

<https://nagara-shunichi.com/>

Mail :nagara@nagara-shunichi.com

